〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 4-2-2　　TEL/04-2964-2511　FAX/04-2964-2519
Ｅメール/ shimin@ictv.ne.jp　　http://iruma-skc.seesaa.net/

市民活動の新しいカタチ「IRUMA元気商会」～加治丘陵で里山管理・体験プログラムの企業研修を行いました……4月21(木)～22日(金)

今年の１月、県内を中心とした中小企業の販売促進・取引先拡大を目的とした国内最大級の展示商談会「彩の国ビジネスアリーナ 2016」が開催されました。まちサポも県の共助社会づくり課の指導を受け出店しました。急きょ決まった出店であったため、資料も十分ではなかったのですが、それでも約 30 社へ加治丘陵での研修事業の商談を行いました。その中の一社であるハウスメーカーより、早速新人研修の依頼があり、「ＩＲＵＭＡ元気商会」事業の第一弾となりました。

研修は、４月２１日(木)、２２日(金)の両日新緑薫る加治丘陵で、企業の若者たちを対象に、植林地での下草刈り、森林としての健康診断実習及び植生の観察などを行いました。

一日目は、先ず下草刈りです。初めてカマを持ったという人もいましたが、みんな真剣に取り組みました。午後からは座学で、加治丘陵の里山としての意義や管理する市民団体の活動状況の説明と、山梨県都留市で活動する大野航輔講師の森林の保全と活用により森を守る活動の話しなど興味深い講義がありました。二日目は、森林診断の実習や山歩きをしながら植生の観察などを行いました。お昼は、地元有志の皆さんの協力を得て蕎麦打ち体験やお茶の芽の天ぷら、地元野菜の豚汁作りなどを手伝い、みんな一緒になって山飯を食べました。その後は、二日間の研修の総括として里山ワークショップと題した研修体験報告グループワークを行い、成果を発表しました。

この事業は、市民団体を元気にすることを目的とした試みであり、加治丘陵を利用した初めての企業研修事業であったが、研修生には「里山の意義」や「加治丘陵の魅力」を十分に伝えることができたものと実感しました。そして企業からは研修事業に対して高い評価を受けることができました。

事業実施にあたっては、入間市の山林管理を行っている市民団体や環境再生の活動をしている専門家、地元の料理自慢のみなさん等の協力により、実現することができました。このような異なった分野で活動する市民が協力して「IRUMA 元気商会」としての事業を実施することは、今後の市民活動の新しい一歩になったものと思われます。この度、ご協力を頂いたみなさま、本当にありがとうございました。

「まちゼミ」を開講しました。……5/21～7/23（全６回の講座）

市民活動の実務スキルを磨く講座として、まちゼミを企画・実施しました。講師は、活動現場で豊富な経験を有し専門学校や大学で講師をしているまちサポのスタッフで、受講者は公募の２人とこれまでの人財塾修了生４人の合計６人でした。
内容は、「活動資金を集めるバザーを年に２回開催し20万円の収益を得る」というテーマのもと、①企画提案書の作成、②広報活動の仕方、③予算・実績の管理、④会議の進め方の４項目に取り組みました。
今回は、受講生が自らスキルアップを磨くゼミとして、受講生全員がテーマに取り組み、それぞれの成果を発表し、意見交換をしながら、実際の現場に即した考え方や手法について学びました。

「環境再生シンポジウム」を共催しました。……6/4(土)～6/5(日)

第1回環境再生シンポジウムは2004 年5 月、入間市において開催されました。それから10年余が経過した現在、環境再生をとりまく状況は大きく変化しています。特に、地域の自然資源をどのように活用するか、地域活動をどのように活性化していくか、NPO 活動を継続していくための仕組み・実践方法などが重要な課題になってきています。
第2回環境再生シンポジウム in IRUMA では、こうした現在の環境再生にかかわる状況を確認するとともに、今後の環境再生活動のありかたについて展望しました。シンポジウムは2日間開催され、一日目は基調講演、事例報告、パネルディスカッションを行い、里山保全活動などの環境再生事例を検証するとともに今後の展開について議論を行いました。二日目は、地元入間市の里山管理活動の現場においてエクスカーションを行い、議論を深めました。

○基調講演 「道志村における薪ボイラーを軸とした木材利用の取り組み」：大野航輔 株式会社リトル・トリー代表取締役(元道志村地域おこし協力隊 再生可能エネルギー･副業型林業担当)
○事例報告 ①地域資源を活かす「IRUMA 元気商会」事業：幸森康夫（まちサポ副代表理事)、
②入間川に天然アユ戻る：鈴木勝行（NPO 法人荒川流域ネットワーク代表理事)、
③復活したふるさとの小川：原田 信（環境再生医上級)、
④レンジャーズプロジェクトにおける環境再生活動：春田章博（認定 NPO 法人自然環境復元協会理事)
○パネルディスカッション
パネラー：基調講演者、事例報告者、 コーディネータ：木内勝司（まちサポ代表理事)
■エクスカーション：加治丘陵里山計画地の現地見学・山仕事の広場ほか

「イルミンポスター展」を開催しました。……6/20(月)～6/26(日)

6月20日から26日までの１週間、入間市市民活動センターのロビー、ミーティングコーナーでイルミンポスター展を開催しました。参加団体は18団体で、この期間のイルミン利用者は716名でした。今後も、より多くの団体の参加をお待ちしています。

「イルミン登録団体交流会」が開催されました。……7/3(日)

７月３日(日)、１４時からイルミンの活動室１で、登録団体交流会が開催されました。参加団体は 22 団体、参加者 33 人で、イルミンからの連絡事項、アイスブレークゲームでの持ち寄りの賞品争奪戦、お茶・お菓子をつまみながらの情報交換など、和気あいあいと盛況のうちに無事終了しました。

「めだかの学校プロジェクト」が開始されました。

「めだかの学校プロジェクト」は、遊びを通して生き物への理解を深め自然のありがたさを学び、子供たちの健全な育成を支援するとともに、ふるさとの水と緑である入間川、加治丘陵の活用を図ることを目的とした事業で、埼玉県の助成事業になっています。この事業は、まちサポが、NPO 法人子育て家庭支援センターあいくる、NPO 法人荒川流域ネットワーク、入間川ビオトープネットワーク研究会、埼玉県生態系保護協会入間支部、いるま環境再生の会等と連携して行っています。

◆はじめての水あそび：幼児親子対象。10:00～12:00。豊水橋下流、黒須公民館

①7/13(水)：参加者は、13 組の親子 30 人とまちサポ、あいくるのスタッフ 14 人、合計 44 人が参加して、ライフジャケットを着て横になったり楽しい川あそびとなりました。

②9/21(水)：入間川の増水で川遊びはできなかったが、前回は渇水気味の川で今回は増水した川を眺め、びっくり。川の変化に新鮮な驚きを体験したと感激していました。

◆魚とりと川遊び：児童親子対象。9:30～13:00。豊水橋下流

③8/7(日)：参加者は、15 組の親子 33 人、スタッフ 18 人、合計 51 人。初めての川遊びだが、対岸まで行って魚やエビを捕まえたりした。最後は捕まえた魚を自分たちで料理して食べました。初めての経験に感動していました。

④9/10(土) 参加者は、8 組の親子 16 人とスタッフ 10 人、合計 26 人で、楽しい川遊びになりました。水量は多かったが、台風による洪水でフラッシュされ、蘇った清流の中でたくさんの魚と対面しました。

◆里山あそび：幼児親子対象。10:00～12:00。加治丘陵、青少年活動センター

⑤10/12(水)：参加者は、50 組の親子 101 人、スタッフ 15 人、合計 116 人。親子で落ち葉や枯れ枝を集め、かまどでご飯を炊き、おにぎりや、ゆでピーナッツに舌鼓を打ちました。

⑥11/9(水)
10:00～12:00。
加治丘陵、青少年活動センター・キャンプ場
さつま芋や焼きマシュマロも楽しめるよ。みんな参加してね！

◆里山あそび：児童親子対象。10:00～12:00。加治丘陵、農村改善センター

⑦9/4(日)：朝方は雨が降っていたため、キャンセルが出て参加者は２人でスタッフ含め７人と少なかったが、その分、濃くて楽しい里山の自然（きのこ、カエル、鳥等）を見つける自然観察・散策ができました。

⑧10/15(土)：天候に恵まれ、親子２組、６人とスタッフ 10 人で、駿河台大学の平井純子先生をガイドに、楽しい自然観察会となりました。子供たちは「まだ続けた～い、帰りたくな～い」との感想で、スタッフも大いに楽しみました。

市民活動センターの耐震工事が続いています。年内は閉館、年明けに開館。

市民活動の拠点である「入間市市民活動センター(イルミン)」は現在耐震工事中。工期の半分が過ぎ、現在は内部の工事を行っています。まちサポと社会福祉協議会、男女共同参画センターは事務所として工事期間中も使用していますが、関係者を除いて、市民団体や一般市民は年内の利用はできません。

今後の予定は以下のようになっています。

- 利用再開は平成 29 年１月４日から
- 予約は利用日の３ケ月前（例：平成２９年１月４日の利用に係る予約は、平成 28 年１０月４日）から開始。但し、耐震工事期間中は原則として電話予約のみ（０４-２９６４-２５１１）
  時間は平日午前９時～午後５時１５分
- 詳しくは、入間市役所自治文化課（０４-２９６４-１１１１内２１４１・２１４２）へ

新登録団体紹介

NPO 法人 住まいの管理相談センター
代表理事：井上耕一
電話：04-2968-3920
Ｅメール：npokari@orion.ocn.ne.jp

近年、住まいや土地の管理について、例えば、火事や除草、防犯など、悩まれる方が増えてきました。住まいの所有者が高齢化し、子どもたちは離れた街に住んでいて、それぞれ持ち家があるため建物の管理が出来ないケースが増えています。

一般の人たちは不動産会社には遠慮がちであるため、住まいや土地の管理に悩まれている方々の相談しやすい窓口として、NPO 法人を設立しました。無料相談会やセミナーを開催し、住まいや土地の管理について気軽に相談できるように、日頃の業務で培った知識と経験を通してお役に立ちたいと考えております。

事務局長の菊地さん

登録団体お茶会のお知らせ